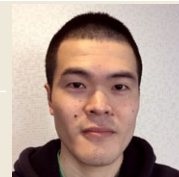


東京都

明治大学附属明治高等学校

塩原洋二先生



高2

 スーパー英文読解 英語を自動化するトレーニング 応用編

丁寧な自学から自由英作文につながられる！

長期休み中に、英語の基礎体力が維持でき、かつ、自学で単語・表現・構文の確認から読解力・リスニング力・英作文力の向上まで、全てを賄える教材を探していました。英文レベルとその導入方法、定着のさせ方も理想的だと感じ、昨年、高1で『英語を自動化するトレーニング 基礎編』を採用。その流れもあり、今年は『同 応用編』を採用しました。休み明けの授業で使うということをあらかじめアナウンスした上で、夏期休暇中の課題として渡し、2学期の始業式に提出してもらいました。昨年と同様のスタイルで取り組ませたこともあり、多くの生徒が教材の「使い方」の説明に沿って、丁寧に学習してきたようです。授業では、正誤問題を提示し、リスニングに取り組ませた上で、答え合わせを行い、バズ・リーディングやペアでのシャドーイング、暗写シートを使ったライティングなどに取り組ませました。また「ファイナルタスク」があるLessonでは、自由英作文に挑戦させ、指名した生徒に発表させました。

今後の目標は、身近な話題でもアカデミックな英文でも、生徒同士で意見交換や発表が当たり前に行える知的空間を創ることです。そのために、基礎力を強化するトレーニングも欠かさずに、バランスの取れた授業を心掛けていきたいと思っています。

① 最も指導に役立ったこと

英語運用能力の基礎が培われ、英語での表現力が向上した

教材の使用方法について

○ 授業と自学で使用

夏休みの自習教材として使用。2学期からの「コミュニケーション英語Ⅱ」の授業で、毎回前半20分、音読トレーニングの素材として使用

テストの実施方法について

○ 1回の範囲、問題数

定期テストにて20題程度

○ 問題の種類

空所補充（選択式/スプリング記入式）、自由英作文問題

2017年3月現在